

<第4674回>

目的地：大福山・俎石山（紀泉）

担当者：柴崎

実施日：2026年1月18日（日）

形式：日帰りハイキング

費用：¥1,800（JR天王寺駅—六十谷駅往復）

参加者：13名

天気：晴れ

行程：JR六十谷駅(9:40)→(10:15)小川地蔵尊分岐→(11:00)八王子社跡手前の分岐→(11:35)奥辺峠→(12:10)大福山【昼食】(12:45)→(13:03)俎石山→(13:40)大福山→(14:20)井関峠(14:50)→(15:45)小川地蔵尊分岐→(16:30)六十谷駅(解散)

感想：好天に恵まれて絶好の山日和になりました。

六十谷駅から見渡す青い空に気分も高鳴り、挨拶も早々に出発しました。千住川に沿って車道を北上し、40分程歩くと小川地蔵尊の分岐に出会います。Y字路の左側へ行くといきなり生い茂った山道に入りしばらくうっそうとした西谷林道を歩きます。八王子道に入ると壊れかかった細い丸太を通しただけの橋を渡ったりいきなり滑り落ちそうな急斜面を登ったり奥辺峠までは良い山道とは言えず慎重に歩きました。峠に着くと、ここからは道が整備され休憩ポイントにはベンチも備えられ、景色も良いので思わず座ってしまいそうになりましたが目標は大福山なのでみんなで我慢。

やがて見晴らしの良い小台地の大福山に着きました。西に大阪湾、南に和歌山市街地の展望が開けていますが当日は黄砂のため視界はぼんやりしていました。

大福山は役ノ行者が開基した本恵寺の奥の院跡と伝えられています。昼食を済ませると20分で往復できる北尾根に続く俎石山に向かいました。そこから200m先の展望台からは春の光に煌めく大阪湾を望むことが出来ます。俎石山から大福山へ引き返し下山開始です。急斜面に枯れ葉が積り足場の不安定な状態が続きます。その途中にあるかつての修験場、東西の懺法ヶ岳へ希望者で立ち寄りしました。昔の面影は薄く今はなだらかな小山になっていました。

井関峠に着くときれいな東屋があり休憩を取りました。そこからの下りは少々荒れたザレ場が続く、思いのほか時間がかかり、井関橋に着いた時にはほっとしました。舗装道路脇に点在する民家や畑を通り抜け、元来た小川地蔵尊に帰って来ました。朝に通った道に戻り出発点の六十谷駅に4時半に着き解散しました。

特記：、

下り斜面は冬枯れのこの季節に多い枯れ葉で滑りやすくなっています。